

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA		THE YS MENS CLUB OF ATSUGI
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF YS MENS CLUB CHARTERED IN 2004		4 - 1 6 - 1 9 NAKACHO AT SUGI KANAGAWA JAPAN 〒 2 4 3 - 0 0 1 8 TEL 046(223)1441 担当主事 吉永貴弘

2014年4月・5月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第116号

万年クラブ会長 ささやかな祈りがあるとすれば、自分以外の周囲に心を寄せる
 主 池田湘南・沖縄部部长 みんなで楽しく奉仕
 渡辺東日本区理事 いざ立て
 題 アジア地域会長 未来を始めよう、今すぐに
 国際会長 全ての世界へ出て行こう

今月の聖句 (横浜 YMCA 14年度聖句)

あなたがたは地の塩、世の光である。

マタイによる福音書5章13～14節から

2月例会 (2月26日) 報告

2月はT O F (TIME of FAST 断食の時) の月として、世界の飢餓に苦しむ人々を支援するため、クラブの例会の食事を抜きにして、その分の金額を献金し、スイスの国際協会本部に集金され所定の支援目標に捧げる奉仕活動の大切な月です。

当クラブは東日本区の定めた目標金額、今年度は1,300円/人を献金しました。クラブバーナーに貼付されたバッチ (ワッペン) は国際協会から贈られたT O F協力の証です。

2月例会では、毎年次年度クラブ役員を選出を打ち合わせております。

14～15年度 (内定役員 敬称略)

- 会 長 堀田哲郎
- 副会長 石井芳隆 谷口四郎 田中勝子 佐藤節子
- 書 記 小林 秀 千葉裕子
- 会 計 岩淵正弘

新三役のもと、来年6月の東日本区大会に向け、進取の気満つ厚木市にふさわしく、心をゆさぶられるような大会を目指し、全員一丸となって燃えるような心で準備に励みたいと思います。

例会データ	3月	在籍会員	18人
会 員	13人	メイキャッツプ済み	
ビジター	6人	出席率	
ゲ ス ト	1人		
合 計	20人		72%

3月例会 (3月26日) 報告

卓話 なるほど納得 (漢方について)

横浜つづきクラブ 元ツムラ役員 横田孝久さん

古代から近世にかけて、大陸から断続的に伝来し、日本の風土、気候、日本人の体質に合わせて独自に発展をとげて来たのが漢方医療で、蘭方と区別して江戸中期から漢方とよばれるようになった。

漢方も中薬 (中国医学) も体全体の調子を整えることで病気を治して行くことを基本としているが、中薬では1人ひとりの体質を見て生薬を調合するのに対して漢方では、あらかじめ組み合わせられた生薬を投与するところが異なる。

なお、生薬とは「自然界にある植物や鉱物などのうち薬効をもつ」部分のことで、漢方薬とは一定の法則のもと原則として2種類以上の組み合わせで作られた配合剤のこと。生薬はほとんどのものが現代医療の薬に調合されている。

現在医療では症状をみるだけで臨床検査データに頼りすぎるとの批判もあるが、漢方の「患者を医師の五感でよく観察すべし、」との診察法は医師にとって座右の銘とすべき教えであろう。 以上

例会データ	4月	在籍会員	18人
会 員	15人	メイキャッツプ済み	
ビジター	3人	出席率	
ゲ ス ト	人		
合 計	18人		83%